

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

特別会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	家族介護支援事業				シート番号	011-101	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	要介護高齢者が増加する中、介護者及び要介護者が安心して在宅生活を送ることができるよう、在宅介護者の精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を推進するため、堺市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において重点取組項目として位置づけ、平成24年度から事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ボランティア団体)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	家族介護者、市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	家族介護者等の在宅医療・介護の継続に向けて、精神的・身体的負担を軽減するために、介護者のレスパイト(休息)の重要性を普及啓発するとともに、介護者をサポートする人づくりを行うことを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	レスパイト(※)概念の普及啓発のため、地域における介護者支援の担い手である「さかいお節士」の活動を支援するとともに、各種媒体を用いた情報発信を行う。 ※レスパイト:「介護者の休息」という意味で、在宅介護を続けるためには、一時介護から離れて息抜きすることが大切であるという考え方 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	(一社)日本エルダーライフ協会				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	1,668	1,246	1,648	664	1,162	164	703	
	主な事業費内訳	委託料	千円	1,288	997	1,089	570	858	135	300
		その他(需用費等)	千円	380	249	559	94	304	29	403
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	976	729	952	383	671	95	406
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(介護保険料)	千円	367	274	379	152	267	38	162
		一般財源	千円	325	243	317	129	224	31	135
	12	人件費 (b)	千円	4,920	4,920	1,990	1,990	1,990	1,650	1,650
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,588	6,166	3,638	2,654	3,152	1,814	2,353

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	家族介護支援事業	シート番号	011-101
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度は「レスパイトの重要性の周知」という当初からの事業目的に照らして、より実効性の高い事業とするために、「さかいお節介士」の新規養成やイベント開催等は廃止し、「さかいお節介士」の地域での啓発等自主的な活動を促すためのスキルアップを図るステップアップ講座を市民の方を対象に2回実施した。						
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	お節介士登録者数	人	目標値	100	100	100	-
				実績値	82	83	83	
				達成率	82%	83%	83%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		養成講座を経て、自主的な活動を行う登録者数					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	お節介士養成講座・ステップアップ講座の開催数	回	目標値	4	4	3	3
				実績値	4	4	2	
達成率				100%	100%	67%		
評価				良い	良い	少し悪い		
算出方法・設定根拠など		修了者による交流を含む養成講座開催数(※令和2年度はステップアップ講座のみ)						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	お節介士登録者数	人	82	83	83
	②	上記①にかかる年間経費	千円	997	570	135
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	12,159	6,868	1,627
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	お節介士養成講座・ステップアップ講座の開催数	回	4	4	2
	②	上記①にかかる年間経費	千円	997	570	135
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	249,250	142,500	67,500
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		令和元年度は「レスパイトの重要性の周知」という当初からの事業目的に照らして、より実効性の高い事業とするために、「さかいお節介士」の新規養成やイベント開催等は廃止し、「さかいお節介士」の地域での自主的な活動を促すためのスキルアップを図るステップアップ講座を実施することとしたため、見直し前に設定した目標の達成はできなかった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月に開催を予定していた講座が中止となったことも目標に達しなかった要因の1つと考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	家族介護支援事業	シート番号	011-101
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 既存事業の中でレスパイトの重要性の啓発を行っていくことで、市民生活等に影響を及ぼさない形にすることは可能と考えられる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	従来の取組の中では、地域における自主的な活動に十分につながっておらず、「レスパイトケア(介護者の休息)の重要性の普及」という本来の目的に照らした事業効果をあげられていないため、単独の事務事業としては廃止する。 国において、令和元年6月に策定された認知症施策推進大綱では、地域で認知症の人を応援する認知症サポーターの活動促進などの取組が位置付けられており、こうした国の動向等も踏まえて、地域における自主的な活動の促進や関係機関との連携を進めていくことにより、既存事業の中でレスパイトケアの重要性の普及を図っていく。		